

周布公民館だより

高3 西山 瀬奈

平成30年3月号 第304号

〒799-1371 周布公民館 西条市周布 1281-1
電話・FAX: 0898-68-7030 E-mail: shu-k@saijo-city.jp

周布地区の人口1月末現在
(前月比)
世帯数 1,667世帯 (-7世帯)
男 1,763人 (+1人)
女 1,913人 (-4人)
計 3,676人 (-3人)



土曜教育 しゅうっ子教室



子ども達に「表現」をテーマに、土曜教育「しゅうっ子教室」を開催いたしました。「日本舞踊」「よさこい踊り」「和太鼓」を体験しました。多くの方にご協力をいただき、無事終了することが出来ました。子ども達のたくさんの笑顔がいっぱいになりました。ありがとうございました。



花ボランティア

子ども達の活動スペースの環境をより良いものにと考え、周布小学校の環境美化活動を、婦人会・地域のボランティアの皆様のご協力で月に1回実施しています。ありがとうございます。

子ども達が、元気で遊ぶ場所が増えました。

どなたでも参加できます。

一緒に活動しませんか・・・！！



男性の料理教室



2月8日(木)

今年度最後は、男性料理教室と食生活改善推進協議会の合同で行いました。ゴロゴロ根菜がゆ・豆腐の肉みそあんかけ・簡単チーズケーキ等を作りました。

「口の元気は、美味しく食べて、楽しい会話を楽しむために大切です。」



ミニ作品展 一心教室

小四 高橋 美乃莉
か小
ご鳥

小五 青野 美玖
な大
池き

小六 藤岡 幸晴
急谷
流の

小五 寺岡 大智
の雪
春国

川柳 石鎚吟社

皮脱いで若かえりたいのむサブリ
生き上手面の皮まで厚くなる
もう二十才ぬぎ捨てた皮背伸びする
どこまでも意地一張りの面の皮
望むのは親子で酒をのみたいよ
夢だった望み通りに甲子園

手島 みどり
一色 佐太郎
首藤 幹麻呂
平尾 忠文
佐山 富子
平尾 ヒロ子

【黒川中将祖先墓】



大正天皇の御養育係陸軍中将黒川通軌の祖先の墓。祖先の黒川氏は天正の陣で剣山城落城のとき周布村に隠れ住んだ。蜜乗院墓地に大きな墓石が4基あり、氏名のわかる墓碑に黒川勘左衛門道春 寛文5年没を記載されている。
《周布文化財保護委会》



《3月の主な行事予定》



日	曜	行事名・開始時間
1	木	民生児童委員定例会 19:00~
3	土	周布こどもランド 9:30~ 場所:周布公民館 感謝集会 10:30~ 場所:周布公民館 イキイキ体操 13:30~
5	月	休館日
6	火	声掛け訪問 10:30~ 放課後こども教室 14:45~ 場所:周布小学校
7	水	おいでや公民館(コサージュ作り) 10:00~ 場所:公民館
9	金	寄せ植え盆栽植替え教室 13:00~ 場所:周布公民館 公民館協力委員会 19:30~ 場所:周布公民館
10	土	花ボランティア 8:30~ 場所:周布小学校
12	月	休館日
13	火	放課後こども教室 14:45~ 場所:周布小学校
16	金	東予東中学校 卒業式
17	土	イキイキ体操 13:30~
19	月	休館日
21	水	休館日 春分の日
22	木	周布小学校卒業証書授与式 歌声喫茶 10:00~ 場所:周布公民館
26	月	休館日

《公民館協力委員会を開催します》

開催日:3月9日(金)
開催時間:19:30~
開催場所:周布公民館 集会室
※協力委員の皆様方には、お忙しいとは存じますがご協力をお願いいたします。
公民館協力委員長 高橋 義昭

《3月のゴミ収集日》

○燃えるゴミ 毎週火曜日・金曜日
●燃えないゴミ 毎週月曜日
○粗大ゴミ 第1・3木曜日 1日・15日
●資源ゴミ 第1水曜日 7日
○ペットボトル 第2水曜日 14日
※ゴミはルールを守って出しましょう!



行事報告

【周布こどもランド】 2月10日(土)



和菓子作り体験「おはぎ作り」を行いました。
はじめに、おはぎとぼたもちについてのお話を聞いた後に、お餅に餡子を包み海苔やきな粉を付けていました。
初めて体験する子どもさんもおもちから餡子がでたり、手についたりと笑顔で頑張りました。 みんなで美味しくいただきました。

ご案内

【イキイキ体操教室】ご案内

日時：3月3日・17日(土) 13:30~
場所：周布公民館 2階会議室
持ってくるもの：室内履き・タオル

【寄せ植え盆栽教室(植替え)】ご案内

日時：3月9日(金) 13:00~
場所：周布公民館
講師：一色 明先生
持参品：寄せ植えの樹木・鉢・鉢等

【歌声喫茶】ご案内

日時：3月22日(木) 10:00~
場所：周布公民館
講師：高橋 裕豊先生
参加費：500円(軽食・おやつ付き)
申込締切：3月17日(土)
申込先：周布公民館 TEL68-7030

♪キーボード演奏で 楽しく歌を歌います♪
美味しい軽食がありますよ

=周布なかよしクラブミニサービス=

【古典講座受講生募集】

○日時：平成30年4月から平成31年3月まで
毎月おむね第1土曜日(初回は4月7日)
13:30~15:30
○場所：西条市佐伯記念館・郷土資料館
○内容：「伊勢物語」
○講師：武田 眞 氏
○定員：60人(先着) 受講料 無料
○受付期間：3月1日(木)~3月16日(金)
○申込先：西条市教育委員会西部分室
(TEL0898-64-2700 内線231)
東予、丹原、小松各地区公民館

移動図書館 《カワセミ号》

3月3日(土)・17日(土)
周布小学校 13:50~14:20

第14回

西条市ボランティアフェスティバル

○日時：3月17日(土)
10:30~15:00
○場所：西条市中央公民館
○内容：・ボランティア体験・ステージ発表
・ボランティア活動紹介・バザー
・ボランティアポスター展示等
○問合せ：西条市社会福祉協議会
西条市ボランティアセンター
TEL 0898-64-2600

【おいでや公民館】

◆日時：3月7日(水) 10:00~
◆場所：周布公民館
◆講師：玉井 初美先生
◆内容：コサージュ作り
◆定員：15名
◆参加費：材料代1000円
◆持参品：はさみ
◆申込み締切：3月4日(日)
周布公民館 TEL 68-7030
※作品の見本は、公民館にあります。
赤系・オレンジ系の2種類です
※作品は、複数作ることが出来ます。



【よさこい踊り教室】ご案内

◆日時：3月6日・20日(火)
19:30~
◆場所：周布公民館
※体験してみませんか・・・
一緒に楽しく踊りませんか・・・



【花ボランティア】ご案内

◆日時：3月10日(土) 8:30~
◆場所：周布小学校
※多くの方の参加を
お待ちしております。



【周布こどもランド】ご案内

◆日時：3月3日(土) 9:30~
◆場所：周布公民館
◆内容：感謝集会 カレー作り
◆参加費：無料
◆持ってくるもの：エプロン・三角巾



地域のお世話になった方々に「ありがとう」の
気持ちを込めて・・・!

【感謝集会】ご案内
カレーパーティー

◆日時：3月3日(土) 10:30~
◆場所：周布公民館
◆参加費：無料
☆子どもたちと一緒に協力いただいた
ボランティアの皆様と交流を行います。
☆どなたでも参加できます



お知らせ

平成30年度
学校開放登録団体の受付及び
公民館利用サークル登録について

昨年度登録されている団体につきましては、郵送で申請書を送付しておりますので期日までに公民館へ提出をお願いいたします。
新規に登録を希望される団体は、申請書が必要となりますので、公民館までご連絡ください。 申込締切：3月10日(土)
問合せ先：周布公民館 TEL・FAX 0898-68-7030

【花づくりコンクール作品募集】

審査対象 東予総合支所管内の花壇・フラワーポットなど。
応募資格 個人、グループで育てており、敷地外からでも観賞できるもの
会社や学校などにあり、従業員や生徒でつくられているもの
応募締切 平成30年4月 6日(金)
審査日 平成30年4月16日(月)
問合せ 東予総合支所 建設管理課 建設管理係
「東予地域緑を守り育てる会」担当者(64-2700)



第35回「西条市民親睦囲碁大会」

●主催 西条市中央公民館 囲碁教室
西条市中央公民館
●後援 愛媛新聞社
●日時 平成30年3月11日(日)
9時30分(受付開始 9時)
●会場 西条市中央公民館 2階学習室
●参加者 囲碁愛好家 定員60名程度
●参加費 1,000円(昼食代含)
●申込締切 平成30年3月7日(水)
●参加申込・お問合せ：西条市中央公民館
●TEL 0898-65-4030
※当日のお申し込みは出来ない場合があります。



桜草が咲いています



チューリップの芽も出ましたよ

婦人会だより〈3月の予定〉

3月 6日(火) 第2回声掛け訪問
3月13日(火) お疲れさま会
3月16日(金) 東予東中学校卒業式
3月22日(火) 周布小学校 卒業証書授与式



～ 毎月10日は「人権を考える日」～
ハッピーアイランド 福島



東日本大震災から、7年目を迎えるようとしています。西条市立橋小学校は、校名が同じという縁があって、福島県の郡山市立橋小学校と交流を続けました。

震災から2か月たったころに届いた手紙の一部を紹介します。まずは、地震が起きた時の状況です。

いきなりブランコみたいに強くゆれてびっくりしました。この世の終わりかと思いました。体育館のかべや集会ホールの天井が落ちました。(5年生)
急にふぶきになったり、よしんが起きたりして、こわくて泣いてしまいました。でも、みんなで力を合わせなきゃいけないと思い、毛布や上着は、小さい子にあげて、ぼくと6年生は、寒いのをがまんしました。(4年生)
水が出なくて、外で食器を洗いました。冷たかったです。(3年生)

やさしく力強い子どもたちから、勇気と元気をいっぱいもらいました。
ところがその後、耳をふさぎたくくなるような出来事が続けて起きました。
『どこから来たの』と聞かれたので、『福島から』と答えると、『放射能がうつる』と叫び、逃げて行った。「幼稚園に入園させようとしたら、園側から『福島から来たことは内緒に』とくぎを刺された。」など、避難先でのいじめやホテルの利用拒否などの報道が相次ぎました。『ばい菌』と呼ばれ、多額の金銭を要求された生徒は、「いままでなんかも死のうとおもった。でも、しんさいでいっぱい死んだからつらいけどぼくは生きるときめた。」と手記に書き、思いを伝えました。
そして、「福島差別」という言葉が作りだされました。これは、放射線による被害という自然科学の問題であるかのように見せかけながら、私たちが人為的につくりだしてきた社会問題です。そこに見られる偏見に基づく排除や忌避の意識は、他の差別事象につながるものがあります。差別は、いかなる理由があろうとも許されてはなりません
「福島差別」なんて言葉をつくりだした私たちの社会に届いてほしい、子どもたちの温かさたくましさです。